

今週（12月23日から12月27日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い状況に変わりはなく、相場に大きな変化は見られなかった。無担保コールO/N物の加重平均レートは、23日(月)から26日(木)まで0.227%の横這いで推移し、27日(金)も概ね横ばい圏での取引となった。

ターム物に関しては、1W~4Mまでの幅広い期間で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、財政等要因や各種金融調節により533兆円前後で落ち着いて推移した。

●レボ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、0.20~0.25%近辺で推移した。

SCIは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、年末を控え参加者が限られる中、3Mゾーンが軟調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、月末発行週にあたり、電気・ガス、その他金融、石油・石炭業など複数の業態で大型発行が行われた。市場発行残高は、26兆円前後で推移し、前年同時期と比べると約2.5兆円程度少ない水準での推移となっている。発行レートは、0.25%以上で推移しているが、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

また、25日に行われたCP等買入オペは、事前予定通り2,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.457%、平均落札レート0.534%と前回比（按分+0.005%、平均+0.051%）で、按分、平均ともに上昇した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
12/23 (月)	39,161.34	1.060	156.65	0.227	0.239	5,335,100
12/24 (火)	39,036.85	1.065	157.38	0.227	0.238	5,323,200
12/25 (水)	39,130.43	1.065	157.15	0.227	0.239	5,324,700
12/26 (木)	39,568.06	1.085	157.47	0.227	0.238	5,342,000
12/27 (金)	40,281.16	1.100	157.95	0.227	0.239	5,328,200

来週・再来週（12月30日から1月10日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
12/30 (月)	証券取引所大納会				12月のシカゴPM景況感指数
12/31 (火)	大晦日				10月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数
1/1 (水)	元日				New York、EURO、London 祝日 (New Year's Day)
1/2 (木)					11月の米建設支出
1/3 (金)					12月のISM製造業景況指数
1/6 (月)					11月の米製造業新規受注・出荷・在庫
1/7 (火)	12月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	TB3M 45,000億円 1/8発行	10Y 26,000億円 1/8発行	交付税借入 13,000億円 1/16借入	12月のISM非製造業景況指数 11月の米貿易収支 12月のユーロ圏消費者物価指数速報値
1/8 (水)	1月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) 12月の消費動向調査(内閣府 14:00)				11月の米消費者信用残高
1/9 (木)	11月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)	TB6M 35,000億円 1/10発行	30Y 9,000億円 1/10発行	1社債借入 7,427億円 1/20借入	11月の米卸売売上高
1/10 (金)	12月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 11月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 11月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB3M 45,000億円 1/14発行			12月の米雇用統計 1月のミンガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
12/30 (月)	▲ 200	▲ 10,700	▲ 10,900	CP買入 国債補完	▲ 1,600 6,400	2,000	6,800	▲ 4,100	
12/31 (火)									
1/1 (水)									
1/2 (木)									
1/3 (金)									
週間合計	▲ 200	▲ 10,700	▲ 10,900	—	4,800	2,000	6,800	▲ 4,100	
1/6 (月)	2,300	5,000	7,300	全店共通	▲ 30,000		▲ 30,000	▲ 22,700	2Y発行▲26,000 償還27,000
1/7 (火)	3,200	▲ 7,000	▲ 3,800				0	▲ 3,800	
1/8 (水)	3,200	▲ 48,000	▲ 44,800	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 52,800	税・保険料揚げ TB3M発行▲45,000 償還46,000 10Y発行▲26,000
1/9 (木)	2,600	2,000	4,600				0	4,600	
1/10 (金)	2,100	▲ 7,000	▲ 4,900	全店共通	▲ 20,000		▲ 20,000	▲ 24,900	TB6M発行▲35,000 償還37,000 30Y発行▲9,000
週間合計	13,400	▲ 55,000	▲ 41,600	—	▲ 58,000	0	▲ 58,000	▲ 99,600	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、邦銀勢の資金ポジションに大きな変化がない限り、引き続き高めのレート圏で推移することが見込まれる。債券レポGC T/N物は、0.20~0.25%程度のレンジで推移することが予想される。短国市場は、1月7日(火)に3M物、9日(木)に6M物、10日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、期初発行にあたり、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では30日(月)に証券取引所大納会、1月9日(木)に11月の毎月勤労統計調査速報、海外では、1月3日(金)に12月のISM製造業景況指数、7日(火)に12月のISM非製造業景況指数、10日(金)に12月の米雇用統計などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。